

ASA FOOTBALL REPORT

クラブ紹介

【綾瀬市】落合サッカークラブ
個性を大切するサッカー

落合サッカークラブ(略歴:落合FC)は、1990年に創立された綾瀬市立綾瀬小学校を拠点に活動している少年サッカークラブです。チームは、火曜日16時半～18時と木曜日16時～18時に落合小学校、土曜日は午前中に近隣のチームを中心に招待試合や大会などに多く出場しています。チームは、小学生1年生から6年生までの21名の子どもたちが落合FCに所属しています。

チームは、「サッカーを通じた個々の成長」をモットーに、サッカーの楽しさやチームワーク、仲間意識を持てるようにクラブで取り組んでいます。練習では、ミスを恐れず果敢にチャレンジをすることを公式ライセンスを持つ経験豊富なコーチが教える中で、「止める・運ぶ・蹴る」、一対一、ミニゲームといった練習を日々取り組んでいます。落合FCではガールズJADE(ジェイド)という女子チームがあり、チーム主催の落合招待杯をはじめとする大会に年間を通じて多く参加して、女の子も含めた子どもたち1人1人がたくさんの試合経験を積んでいます。地元で行われる「落合っ子ふるさと祭り」への出展、夏合宿、ファミリーマラソンなど多くの年間行事を行なっていて、落合FCはチーム全体でとても仲の良いです。取材当日は、重要な県大会市予選を控える中、子どもたちが気持ちを作りながらウォーミングupしていました。



大貫コーチは、チームの目標について「基礎からの練習を大切にして個々の力をつけていき、大会では1月に行われる県大会の一回戦をまず突破したい。」と意気込みを語りました。また、入団する子に向けては「ライセンスを持ったコーチが、丁寧に教えていくので初心者や未経験者も大歓迎です。」と笑顔で答えてくれました。(文=臼井 壘)



ASA FOOTBALL REPORT



2022年度6年県チャンピオンシップ綾瀬市予選

2022年度6年県チャンピオンシップ綾瀬市予選2日目が、4月17日(日)、綾瀬スポーツ公園多目的広場第1グラウンドで行われた。綾瀬市の少年サッカーチーム全6チームが参加し、優勝チームに与えられる県チャンピオンシップU-12綾瀬市代表としての出場権を争った。

[2日目 第1試合] 綾南オレンジ vs 落合SC 4 - 1

雨が降り始める中、前半が開始された直後から、綾南オレンジがプレスを仕掛け、そのままシュートして先制ゴール。守備に追われて厳しい状況の落合SCは、サイドからの相手の攻撃を許し、何度もシュートされる。反撃を仕掛けたい落合SCは、繋いだボールで前線上げていき積極的にシュートを伺うも、攻守の切り替えと足の速さで圧倒した綾南オレンジに苦戦を強いられた。前半開始7分、綾南オレンジが相手ボールを奪うとDFをかわしてキーパーとの1対1を冷静に決めて、2点。その後は落合SCにパスミスが相次ぎ、「もっと周りを見て」と監督が掛け声をするも、自陣からの素早いカウンターを仕掛けた綾南オレンジが3点目のゴール。試合は、冷静なゲーム展開で主導権を握った綾南オレンジが圧倒し、3-0で折り返す。



落合SCの監督の言葉で子どもたちが気持ちを切り替え、後半開始。前半とは変わり、落合SCが相手ボールを積極的に奪いに行くプレーを見せ、敵陣での攻撃。対する綾南オレンジもドリブルでスペースを利用したパスサッカーを見せて、激しい試合展開を見せた。そんな中、後半開始5分、綾南オレンジが相手守備の隙を見てセンターを突破し、そのままゴールシメ押ししの4点目を決めた。このままでは終われない落合SCは、気持ちを切らさない粘りの走りでのパスをつなぎ、1点を返したゴール。その後もパスからチャンスを作ろうとしたが及ばず、試合終了。結果は、4-1で綾南オレンジが勝利した。

ライタープロフィール

臼井 壘(うすい・るい)

2001年生まれ。東京都小平市出身。帝京スポーツ新聞部でラグビー、柔道、駅伝などを担当している。